

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成18年5月18日(2006.5.18)

【公表番号】特表2002-511339(P2002-511339A)

【公表日】平成14年4月16日(2002.4.16)

【出願番号】特願2000-543251(P2000-543251)

【国際特許分類】

B 05 B 15/04 (2006.01)

B 05 D 1/32 (2006.01)

【F I】

B 05 B 15/04 102

B 05 D 1/32 E

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月16日(2006.3.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】車輌の可動パネルと該車輌の隣接部分との間の隙間をマスキングするときに使用するマスキング材料であって、端部に丸みのあるほぼ長形の断面、各々の曲線状長手方向縁部に沿った常温接合継目、25～35mmの幅、10～15mmの厚さ、および一方の長手方向縁部に隣接する感圧接着剤のストリップを有する長形のフォームストリップを含み、該接着剤ストリップは、その幅が8～12mmであり、前記一方の長手方向縁部から少なくとも2mmに位置することを特徴とするマスキング材料。

【請求項2】結合させて手で分離可能な長形のフォームストリップの平行な配列であって、各々のストリップが、端部に丸みのあるほぼ長形の断面を有し、隣接するストリップが、該ストリップの曲線状長手方向縁部に沿って常温接合された継目により結合され、各々のストリップが25～35mmの幅、10～15mmの厚さ、および一方の長手方向縁部に隣接する感圧接着剤ストリップを有し、該接着剤ストリップは、その幅が8～12mmであり、前記一方の長手方向縁部から少なくとも2mmに位置する平行な配列を含むことを特徴とするマスキング材料のロール。

【請求項3】車輌の可動パネルと該車輌の隣接部分との間の隙間をマスキングする方法であって、

端部に丸みのあるほぼ長形の断面、各々の曲線状長手方向縁部に沿って常温接合された継目、および一方の長手方向曲線状縁部に隣接する感圧接着剤ストリップを有する長形のフォームストリップを提供するステップと、

該可動パネルを開放するステップと、

該フォームストリップが縁部を超えて突出するように、該フォームストリップを該接着剤ストリップにより、該可動パネルまたは該隣接部分の内面の該縁部に貼るステップと、

該フォームストリップの該突出部分が、該接着剤から離れた該フォームストリップの該長手方向曲線状縁部が該車輌の外側に向かって方向付けられた状態で該隙間に位置するように、該可動パネルを閉鎖するステップと、を含むことを特徴とする方法。

【請求項4】前記フォームストリップがポリマー連続気泡フォームから形成される、請求項3記載の方法。